特別活動 学級活動(1)指導案

日時 令和…年…月…日(…)

…校時…:…～…:…

使用するフォントとサイズは、

タイトル、項目 MSゴシック体10.5ポイント

本文 MS明朝体10.5ポイントを使用する。

数字については、１桁は全角、２桁以上は半角で表示する。

学校名 ………立…………学校

対象 第…学年…組 …名

会場 …階 …………教室

授業者 …職 名… ……氏 名……

１ 議題(題材) ………………………

学級活動(1)　ア　学級や学校における生活上の諸問題の解決

|  |
| --- |
| ・　学級活動(1)においては、議題、学級活動(2)、(3)においては題材と表記する。  ・　議題や題材と、学習指導要領における特別活動の各内容との関連を示すとよい。 |

２ 議題(題材)について

(1) 児童・生徒の実態

|  |
| --- |
| ・　本議題・題材に関連する学級生活や学級活動における児童・生徒の実態や課題等と、それに対応するための指導上の配慮や工夫を簡潔に記述する。(児童・生徒観) |

(2) 議題選定(題材設定)の理由

|  |
| --- |
| ・　学級活動(1)においては、議題選定の理由、学級活動(2)、(3)においては、題材設定の理由と表記する。  ・　議題選定の理由については、議題が選定された背景や指導観等を記述する。(単元・題材観、教材観)  ・　題材設定の理由については、児童・生徒の実態を踏まえ、本題材を取り上げる必要性等の題材観等を記述する。(単元・題材観、教材観)  ・　必要に応じて各教科等との関連、発達の段階に即した系統的な指導に関わる配慮事項等を記述するとよい。 |

３ ……の評価規準

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ア　よりよい生活を築くための知識・技能 | イ　集団や社会の形成者としての思考・判断・表現 | ウ　主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度 |
| ①　……理解している。  ②　……身に付けている。 | ①　……している。  ②　……している。 | ①　……しようとしている。  ②　……しようとしている。  ＊ 文末については、例を示す。 |

|  |
| --- |
| ・　評価の観点については、各学校で定めた評価の観点を記載する。  ・　学年、複数学年、内容のまとまりごと等の評価規準を記載する。  ・　学習指導要領に示す各教科等の目標や内容に照らして学習状況を評価する(目標に準拠した評価)。  ・　児童・生徒が育成を目指す資質・能力を「おおむね満足できる」状況として判断される状態を表す。  ・　どのような資質・能力をどこまで育成するのか、ねらいを明確にして、具体的な評価規準を設定する。  ・　「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の３観点について、「内容のまとまりごとの評価規準」を踏まえ、児童・生徒の実態を考慮して設定した議題・題材の評価規準を示す。  ・　「内容のまとまりごとの評価規準」等の作成に当たっては、「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」(文部科学省国立教育政策研究所 令和２年３月)や「子供たちに未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む指導と評価の一体化を目指して」(教育庁指導部義務教育指導課 令和２年９月)を参考にする。 |

４ ……の指導計画と評価計画

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 日時 | ねらい | 児童・生徒の活動 | 目指す児童・生徒の姿 | | |
|  | ア | イ | ウ |
| 事前の活動 | …月…日  昼休み | ……………………………………………する。 | ・　…………………………………………。  ・　…………………。 |  | ① ……………している。(ワークシート) |  |
| …月…日  帰りの会 | ……………………………………………する。 | ・　……………………………。  ・　………………。 |  |  |  |
| 本時 | 学級活動 | ………………………………………………………する。 | ・　…………………………。  ・　……………………………。 | ①　……理解している。(行動観察) | ②　……している。(発言分析、行動観察) |  |
| 事後の活動 | …月…日～  …月…日  休み時間等 | …………………………………する。 | ・　……………………………。  ・　………………。  ・　…………………。 |  |  | ①　……しようとしている。(行動観察) |
| …月…日  …校時 | …………………………………する。 | ・　……………………………。  ・　………………。  ・　…………………。 | ②　……身に付けている。(行動観察) |  |  |
| …月…日 | …………………………………する。 | ・　…………………。  ・　…………………。 |  |  | ②　……しようとしている。(ワークシート分析) |

|  |
| --- |
| ・　内容や時間のまとまりごとに児童・生徒に身に付けさせる資質・能力を、目標として示す。  ・　内容や時間のまとまりを見通して、主体的・対話的で深い学びとなるように学習内容及び学習活動を設定する。  ・　[３　……の評価規準]で設定した評価規準の各項目は、議題・題材を通して評価する。複数の議題・題材で評価する項目等については、欄外等にその旨を記述するなどが考えられる。  ・　観点別の学習状況の評価は、毎時間、全観点について評価をするのではなく、それぞれの実現状況を把握できる段階で評価を行うなど、評価する場面を精選し、多様な評価方法を適切に取り入れ、設定する。また、児童・生徒の学習状況を把握し指導に生かす評価と、全員の学習状況を記録に残す評価を区別して示すことも考えられる。 |

５ 指導に当たって

|  |
| --- |
| ・　指導内容や方法、学習形態等について、工夫・改善したこと及びそれについての考え等を記述する。  ・　授業力の６要素(「使命感、熱意、感性」、「児童・生徒理解」、「統率力」、「指導技術(授業展開)」、「教材解釈、教材開発」、「『指導と評価の計画』の作成・改善」)や「主体的・対話的で深い学び」等を視点として記述するとよい。 |

６ 本時

(1) 本時のねらい

…………………………………………………………………………………………………………………………………する。

|  |
| --- |
| ・　本時において育成を目指す資質・能力を具体的に記述する。  ・　[４ ……の指導計画と評価計画]で示した、当該時間のねらいと一致させる。  ・　学級活動(1)においては、(1)　本時のねらい と(2)　本時の展開 の間に「児童・生徒の活動計画」を項立てして記載するとよい。  ・　「児童・生徒の活動計画」においては、児童・生徒が活動を見通して作成した活動計画(議題、提案理由、役割分担、議事進行計画等の合意形成を図るために必要な内容等)を示すようにする。 |

(2) 本時の展開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 時間 | ・　児童・生徒の活動 | 指導上の留意点 配慮事項 | 目指す児童・生徒の姿  (評価方法) |
| 導入  …分 | ＊　児童・生徒と既習事項等を確認し、本時の目標を把握させるようにする。  ＊　児童・生徒が学習の進め方を知り、学習の見通しをもてるようにする。 | ＊　文字や画像、具体物等を用いて本時の目標を明示し、児童・生徒が理解できるようにする。  ＊　児童・生徒が課題意識をもてるよう、内容や提示方法等を工夫する。 |  |
| 展開  …分 | ＊　学習活動の流れ、学習する内容が明確になるように記述する。  ＊　授業者の主な発問や予想される児童・生徒の反応等を端的に記述するとよい。  <○　学習内容の記述例>  ○　△△の様子と▽▽の様子を比べ、違いや共通点に気付く。  ○　▲▲の性質を理解する。  <・　学習活動の記述例>  ・　□□の変化について記録する。  ・　▲▲の性質について気付いたことを、メモを基に意見交換する。  ・　意見交換したことを基に、自分の考えをまとめる。  〔予想される児童・生徒の反応〕  ‣ ○○だから、□□と考える。  ‣ ○○だから、△△と考える。 | ＊　本時の目標を達成するための指導内容、児童・生徒が課題を解決するための指導の工夫等について具体的に記述する。  ＊　児童・生徒の学習状況に応じた個別の指導、支援等について具体的に記述する。  ＊　学習内容や児童・生徒の実態に応じて、安全、衛生、健康等についての配慮や個別の対応について記述する。  ＊　必要に応じて、タブレットＰＣ等のＩＣＴの活用について記述するとよい。  ＊　複数の教員が指導に関わる授業では、各教員の役割を明確に記述する。  <記述例>  ・　○○について結果に基づいて考えられるように、□□の結果を整理して示す。  ・　●●の方法で、△△の視点から話し合うよう助言する。 | ＊　[４　……の指導計画と評価計画]で示した、本時の評価規準を示す。  ＊ 評価する場面が分かるように、学習内容、学習活動の記述と文頭の高さを合わせるとよい。  ＊　評価をする際の具体的なポイントや努力を要する状況の児童・生徒への手立てを記述してもよい。  <記述例>  ア-①　……理解している。(行動観察)  イ-②　……している。(発言分析、行動観察) |
| 終末  …分 | ＊　本時の学習について振り返る時間を設定する。  ＊　次時の学習の見通しをもたせられるようにする。 | ＊　振り返りを通して、本時の目標に対しての実現状況等を確認する。  ＊　次時の学習の見通しをもたせるための言葉掛け等を行う。 |  |

(3) 板書計画

|  |
| --- |
| ・ １単位時間の学習の流れが分かるように、板書する内容を整理して具体的に記述する(議題・題材名、目標、問題・課題、提示する資料、予想される児童・生徒の発言、まとめ等)。  ・ ＩＣＴを用いた提示等については、その内容や方法等を具体的に示す。 |

(4) 授業観察の視点

|  |
| --- |
| ・ 授業改善に向けて、重点的に観察してほしい点や協議してほしい点を具体的に記述する。  ・ [７ 指導に当たって]の内容や本時の目標、展開、時間配分、児童・生徒の学習活動の内容、教材・教具、発問・指示、評価場面や評価方法等を着眼点として具体的に記述するとよい。  〈記述例〉  ・ 思考・判断・表現について評価する場面は適切であったか。  ・ ○○を示したことにより、児童・生徒は▲▲について多面的・多角的に話し合うことができたか。 |